

震度 5 以上大地震発生時対応

《居住者の安全対策》

* 大きな揺れを感じたら、

部屋の中央でジッとしている。

* 揺れが治まったら、

同居家族の安全を確認する。火は消す。携帯を持つ。玄関の扉を開ける。

安全確認後、玄関ドアに「無事です」のステッカーを貼り付けてください。

自分が荷物などの下敷きになって動けない場合、防災訓練で配布した笛を吹く等し、救助を呼んでください。笛等がないときは携帯に手が届けば救助を要請してください。災害協力隊が安否確認に来ますので、災害協力隊が呼びかけるまで力を温存し、呼びかけが聞こえたら大きな音を出してください。

⇒笛の音等、異音に気が付いた場合は、すぐに災害協力隊員へ通報を。

* 津波の警報が出たら、

必ず電気のブレーカーを落として上層階へ避難しましょう。

玄関の施錠を忘れずにして下さい。

津波は佐川急便の新ビルの陰になり、直撃は避けられそうだが、トラックなどがマンション南側に押し寄せることも想定し、避難は出来るだけ上層階が望ましい。

* エレベーターに閉じ込められたら、

大きな揺れがあると最寄りの階で停止してドアが開きます。

万が一、閉じ込められたらエレベーター後部にあるチェアーの前のボタンを押すと、ふたが開きます。中にはカーテン用の布とか、トイレ用品や水や懐中電灯が入っています。時間は要するが必ず救助は来るので落ち着いて待っていてください。

* 津波の警報が出ていなければ

「無事です」ステッカーが玄関に貼ってあることを確認し、備蓄物資の確認など、しばらくの生活体制に備えてください。

災害協力隊に参加できる人は集会室、またはメインエントランスの本部へ参加してください。年齢性別は問いません、協力可能な人は参加をお願いします。

部屋の中が居住不可能な場合は、災害対策で避難所への入所手続きを要請してください。

その他、困ったことがある時は、災害協力隊の本部へ相談してください。

翌日からの生活体制

都内全域の断水が解決するのは1週間、停電・ガス管が開通するのに2週間、下水管が復旧するのは半年から2年と云われています。飲料水や食料の備蓄はマンションにはないので、各自で備蓄してください。

トイレの使用方法やごみの出し方、災害協力隊から指示が出ますので必ず従ってください。
(下水が普通の状態ですと、汚物が下層階の便器から溢れる恐れがありますので、開通するまでは絶対に使用しないでください。)